

資源循環型施設建設に関する説明会（諏訪部地域）【概要】

日時：令和2年9月6日（日）

午前10時から午前11時41分まで

場所：清浄園2階大会議室

○出席者

・ 諏訪部自治会住民または下沖振興組合員	21人
・ その他地域住民	1人
計	22人

・ 行政側 土屋広域連合長、井上上田市副市長ほか関係職員 計14人

・ 報道機関 信濃毎日新聞、上田ケーブルビジョン
東信ジャーナル、週刊うえだ 4社

○説明会の内容

あいさつ、出席者の紹介、資源循環型施設建設についての説明、質疑応答

○主な質問・意見内容

□（発言）

- ・ 諏訪部地域では資源循環型施設関連の情報が入ってこないが、この施設が諏訪部地域に非常に大きな影響を与えると誰もが思っている。
- ・ 環境影響評価は行政だけでなく、専門家が入り、第三者の目で見ると判断すると聞いている。住民の不安を払拭するためにも1日でも早く環境影響評価を実施し、その結果を説明会等で明らかにしてほしい。
- ・ 配慮書はいつ長野県に提出されるのか。

■（回答）（佐藤室長）

- 今後予定している上田市西部地区や圏域全体での説明会が終了するのが10月上旬。環境影響評価は、これらの説明会が終了した後に着手したいと考えている。
- 計画段階環境配慮書の手続きは、業務実施可能な建設コンサルタントに委託するが、この作業に半年程度かかり、住民の皆さんに御覧いただくことや説明会を開催するのは、その後になる。
- 配慮書手続きは県の条例に則り行うが、県への提出は今年度後半から来年度前半を見込んでいる。

□（発言）

- ・ 清浄園周辺のまちづくりを地域住民の意見を聞いてこれから検討していくとの説明があったが、そもそも、清浄園建設当時にも行政から地域発展のための考え方を出示してもらえらるだろうと思っていた。それから50年。これから検討していくというのは根本的な間違いだと思う。地域振興策について、行政側から何か案を示してほしい。
- ・ トータルプランとしてまちづくりの案を早く策定し、それに基づき地域との話し合いを進めてもらいたい。

■（回答）（土屋広域連合長）

- 清浄園の整備にも触れていただいたが、その当時御協力いただいた皆様にお礼申し上げます。
- 建設候補地周辺のまちづくりについては、全体の中でどういった位置づけをしていくか、また、「地域価値の向上」として、今後まちづくりのメリットについて進めていく必要があると考えている。
- 環境影響評価と並行しながら「安全・安心な施設」、「周辺のまちづくり」のような二つの柱についても定期的に話し合いを行っていく。

□（発言）

- ・ 素晴らしい施設ができるということは納得できたが、それ以前の問題がこじれているので、話が進んでいかないと思う。
- ・ 反対派と話をし、住民をどう納得させて事業を進めていくのか、ということが先だと思う。
- ・ 自治会長の経験があるが、反対派と賛成派というレッテルを貼られ、朝晩の挨拶ひとつすらできない自治会になっていくのが一番嫌だった。だからみんなの意見を聞いてやろうと、自治会の協議会に話をしたが、現在はそのようなことは続けられていない。
- ・ 行政としてこの感情を取り除いていかなければいけないと思う。
- ・ この感情をどうやって納得させるか、一人でもいいから命を張って住民のところに行って話をし、そのぐらいの心意気のある職員が欲しい。そうでなければ人の感情は変えられない。
- ・ あとは感情だけの問題、感情をどうやって変えていくのか聞きたい。

■（回答）（土屋広域連合長）

- 平成30年4月の就任当初から諏訪部自治会の役員の皆様には区切りごとに情報をお伝えするよう取り組んでいる。ただし、なかなか直接会うことができず、ご家族の方とお話することはできるが、気持ちは以前から変わっていないと感じる。
- 本日の説明会では、環境影響評価に入る旨の説明をしたが、今まではこの話はできなかった。
- 諏訪部自治会との話し合いの場を設定することは難しいが、様々な人間関係も含めて自治会役員の皆さんとつながりを持っていく。

- 資源循環型施設の話し合いだけでなく、自治会からの要望についても受け止めていく。
- 自治会の中が分断されることがないように取り組んでいく。また色々とおアドバイスをいただき取組を進めていくので、よろしくお願いしたい。

□（発言）

- ・ 検討委員会の住民委員はどのような構成になっているのか。
- ・ 諏訪部が反対している場合でも環境影響評価は実施できるのか。

■（回答）（両角局長）

- 対策連絡会を構成する団体の代表の方々に検討委員会住民委員として参加していただいた。
- 環境影響評価は、あくまでも行政の責任で行うもの。県条例に基づく手続きとしては、地元同意を必要としていない。ただし、今後の住民の方々の判断に大きく影響することなので、地元住民の皆様方には御理解いただきたいということで説明をしている。
- 環境影響評価を行った後に、その結果も判断材料として、建設に対する同意をいただければありがたい。

□（発言）

- ・ 清浄園はいずれ南部終末処理場へ移転すると聞いている。
- ・ 諏訪部体育館（諏訪部コミュニティーセンター）の管理運営経費について、現在は市の方で一部支援しているが、清浄園が廃止されれば自治会負担ということになるのか。

■（回答）（両角局長）

- 体育館については、改めて話し合いをさせていただき、望ましい方向に進めていく。

□（発言）

- ・ 清浄園があることで広域連合から下沖振興組合に支払われているお金はどうなるのか。

■（回答）（佐藤室長）

- 清浄園があることで補償金を支払っているため、清浄園が無くなれば、廃止させていただくことを関係団体と確認することとなる。

□（発言）

- ・ 諏訪部は、古くなった施設の改修等やるべきことがたくさんあるので、自由に使えるようなお金を協力金という形で支援することを検討してほしい。
- ・ 今の諏訪部自治会の状況では情報が入ってこないため、地域振興の話に進んだ時に諏訪部抜きになってしまうか心配である。何か区民の意見を聞けるような窓口を用意してもらいたい。

■（回答）（両角局長）

- 地元の皆さんの要望や意見を聞く中で、協力金という具体的な要望が出れば、それは前向きに検討する。
- 話し合いの窓口については、諏訪部の住民の皆さんの意見が汲み取れるような枠組みを考えていく。

□（発言）

- ・ 諏訪部自治会は反対という意見が多く、本日のような説明会が無ければ意見を述べることもできない。
- ・ 諏訪部は資源循環型施設検討委員会に参加していないが、そのような委員会に発言権が無かったとしても任意の住民が参加できるような仕組みを考えてほしい。
- ・ 行政が情報を一方的に発信して住民は受け取るだけ、という形は好ましくないなので、仮にでも構わないので、話し合いをするような機会を設けてほしい。

■（回答）（両角局長）

- 住民の皆さんの声は真摯に受け止めなければいけないと考えており、今後は皆さんの声を取り入れるような仕組み、取組を考えていく。

□（発言）

- ・ 住民には反対派、賛成派それぞれいるが、ぜひ、情報をしっかりと身に着け自分なりの正しい判断をしてほしいと思っている。
- ・ 情報がないと何も判断材料になるものがなく、住民にとっては最も不都合なことであり、行政は情報提供をしてほしい。
- ・ 職員の皆さんには腹をくくってほしい、最後は政治家である、広域連合長の判断になるかと思う。その時にはしっかりと決断してほしい。

■（回答）（土屋広域連合長）

- 諏訪部自治会の皆様への情報提供については、例えば今回の説明会の開催通知は郵送したが、今後も情報は何かしらの手段で提供しなくてはならないと考えている。ただし、情報提供の方法については、自治会との関係にも配慮しながら、しっかりと考えていきたい。

□（発言）

- ・ 上田市西部地区対象の住民説明会開催の回覧文書を本日参加者の方からいただいた。この文書は諏訪部自治会では回覧されておらず、もらわなかったら知らなかった。
- ・ 自治会回覧における情報伝達についても、何か手段を考えた方が良いのではないか。

■（回答）（両角局長）

- 西部地区自治会連合会に、地区内住民を対象にした説明会を開催するため、お知らせの回覧について協力依頼したが、諏訪部自治会では役員が回覧しないという判断をしたということかと思う。

- 今回の諏訪部地域の説明会も、協力依頼するために広域連合長自ら役員宅を訪問するなどの対応を行いながら、総合的に判断して各戸宛に郵送で通知をしている。このような経過があり、御理解いただきたい。

□（発言）

- ・ 今这回覧文書の件について、私は西脇自治会の住民であり、西脇には回覧文書が回ってきた。しかし、諏訪部住民の方々には文書が回覧されていないことを知り、本日説明会出席者の方々に配付した。
- ・ 既に複数の方からも意見が挙がっているが、何らかの方法で情報が伝わるようにしてほしい。
- ・ 過去の説明会に出席した際にも毎回申し上げているが、いつ何がどうなるのかといったような具体的なスケジュールを明確に教えてほしい。

■（回答）（土屋広域連合長）

- 情報については、確実に伝えられるように工夫をして進めていく。
- スケジュールについては、今回の説明会では環境影響評価に着手する段階としているため、更にその後について具体的に示すことはできない。
- ただし、環境影響評価に着手すれば、その後のスケジュールとして、施設の基本計画策定、設計、建物建設等の業務について、おおよそどれくらいの期間が必要か、また、地域振興策も並行して行っていくか、など大まかなスケジュール感は見えてくる。
- 本日の説明会においては、環境影響評価に着手させていただきたいことをお伝えした。

○まとめ

□（土屋広域連合長）

- ・ 本日は様々な意見や要望等をいただいたが、今後の広域連合及び上田市の対応として活かしていく。
- ・ これから環境影響評価を実施させていただくが、これが施設建設の同意ということではない。
- ・ 資源循環型施設は広域連合及び上田市の最優先課題として曲げることなく、覚悟を持って取り組んでいく。
施設の安全・安心はもちろんのこと、地域価値の向上につながるような振興策を真剣に取り組んでいく。